

自己改革工程表

1. 営農指導事業

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
組合員の営農を守る「梨北農業づくり」の進化	1. 地域密着型営農指導による「梨北農業づくり」 (1) 営農指導員の機動力向上による生産者に寄り添った営農指導 (2) 農業の進化を先導するスマート農業	① 地域農業を守る営農指導員の充足（営農指導力の平準化） ② 「農の匠」と連携した栽培指導および営農指導員の育成 ③ 営農指導員トレーナー（ブロック別）の同行による圃場巡回型営農指導 ④ 専門営農指導員（米穀・果樹・野菜・畜産）による先進技術の提案 ⑤ 専業農家から家族経営農家まで地域を遍く対応する営農指導 ⑥ 「見える営農指導」と「伝える営農指導」の実践 ⑦ 気象情報を裏付けとした栽培方針による「気象に打ち勝つ農業」の実践 ⑧ 栽培技術（短梢剪定・疎植など）による生産コストの低減 ⑨ 総合事業体の優位性を発揮した営農の支援 ⑩ 営農指導員日誌を活用した地域特性の可視化 ① 作業のロボット化による農作業の省力・軽労力化 ② 圃場モニタリングシステムのデータに基づく営農指導 ③ ドローンによる鳥獣害対策・圃場観察（サーモグラフィ）
	2. 「儲かる農業」の礎となる「売れるものづくり」 (1) GAPによる持続可能な農業の実践 (2) “おいしさ”の追求による主要農畜産物の進化 (3) マーケットインによる「売れるものづくり」	① アクティブ・メンバー（生産部会等）のGAP取得の支援 ② 山梨のブランド『梨北米』の産地を守るGAP取得の促進 ③ 「儲かる農業」の裏付けとなるGAP取得の促進 ① 「梨北米が“特A”を獲得するための5つの要件」に基づく栽培指導 ② データ分析を加味した栽培指導および葉緑素計を活用した的確な肥培管理 ③ 優良堆肥・有機質肥料・微量元素肥料を活用した栽培指導 ④ 畜産の産地を守る総合的な飼養管理 ① “作ることのストーリー”にこだわった「売れるものづくり」 ② 「消費者の声」を反映した選定品目の推進 ③ 『メイドイン梨北エクセレント』を目指す栽培指導 ④ 「売れるものづくり」による「農業生産の拡大」
	3. アクティブ・メンバーによる地域農業の継承 (1) アクティブ・メンバーと連携した多様な担い手の育成 （多様な担い手：ベテラン農家・兼業農家・農地委託農家） (2) アクティブ・メンバーによる担い手経営体部会の運営 （担い手経営体：大規模農家・法人・集落営農） (3) 次世代農業者（農業後継者）の育成	① 生産部会等との連携による離農者圃場の管理 ② アクティブ・メンバーと次世代農業者をつなぐ役割の発揮 ③ 次世代農業者に対する営農指導およびフォローアップ ④ 生産者の農業日誌のデータ化による次世代農業者への伝承 ⑤ JA梨北農作業従事者無料紹介所による求人者と求職者のマッチング支援 ① 担い手経営体部会と連携した地域農業振興 ② 農作業受委託の円滑化による農地の保全 ③ 担い手経営体の「農業生産の拡大」による耕作放棄地の解消 ④ 契約販売を前提とした契約栽培による「農業者の所得増大」 ① 若年層がビジネスとして農業を意識する働きかけ ② 女性農業者の活躍を推進（補助事業を活用した女性農業者の育成） ③ 農業経営に必要な生産・販売・経営に関する相談業務 ④ 栽培技術の可視化による農業の継承
	4. 地域農業資源のフル活用による「農業生産の拡大」 (1) 農地の保全および営農継続の支援 (2) 農業政策に対応した『梨北米』ブランド産地の保持	① 農用地利用調整事業・農業経営事業による農地の保全 ② 農地中間管理機構と連携した農地の保全 ③ 農業政策の情報伝達および補助金申請の支援 ④ 農福連携による労働力の確保（営農関連施設） ⑤ 産学連携による最新技術の導入 ⑥ 多様な営農形態に合わせたセーフティーネット（収入保険等）の提案 ① 需要に合わせた二極化生産（家庭用米と酒造好適米・業務用米） ② 実需者の需要を反映した作付面積の確保 ③ 品種構成による刈り取り適期の分散 ④ 農業政策に即した農業者所得安定化の支援 ⑤ 山梨県水田畑作農業再生協議会と連携した需給調整 ⑥ 山梨県主要農作物生産改善協会による優良種子の生産管理

3. その他営農関連事業

ビジョン	重点施策	行動計画
持続可能な農業の支援	<p>1. 組合員の営農を支える農業施設の運営</p> <p>(1) 育苗センターによる山梨のブランド『梨北米』産地の維持</p> <p>(2) 共同乾燥施設による山梨のブランド『梨北米』の品質維持 (カントリーエレベーター・ライスセンター)</p>	<p>① 水稲苗需要増加に伴う計画的かつ効率的な施設運営</p> <p>② 品種別センター集約による異品種混入リスクの回避</p> <p>③ 「農業者の所得増大」に寄与する生産トータルコストの低減</p> <p>④ 常態化する異常気象に対処可能な設備による生産管理</p> <p>⑤ 施設担当者のスキルアップおよび労働力の確保</p> <p>⑥ 次期情報システム移行に備えた整備</p> <p>① 広域的共同乾燥施設構想による異品種混入リスクの回避</p> <p>② 「農業者の所得増大」に寄与する効率的な施設運営</p> <p>③ 「農業生産の拡大」を支援する施設利用の促進</p> <p>④ 計画的な設備投資による高品質米の生産</p> <p>⑤ 施設担当者の育成および労働力の確保</p> <p>⑥ 次期情報システム移行に備えた整備</p>

2. 販売事業

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
「梨北ブランド」による「廃棄ゼロ」への挑戦	<p>1. 「梨北ブランド」による「儲かる農業」の実現</p> <p>(1) 『メイドイン梨北エクセレント』の価値観の向上</p> <p>(2) 生産物統一ブランド『メイドイン梨北』の進化</p> <p>(3) “おいしさ”を誇る山梨のブランド『梨北米』の拡販</p> <p>(4) 『マルシェ梨北』によるアクティブ・メンバーの育成</p> <p>(5) こだわり農産物「梨北さんち（産地・〇〇さんのお宅）シリーズ」の展開</p> <p>(6) 「梨北ブランド」戦略を実践する体制づくり</p>	<p>① エクセレント付与による生産者のモチベーション向上</p> <p>② 高品質の称号エクセレント規格を市場にアピール</p> <p>③ “ロゴ”が示すエクセレント物語による価値観の向上</p> <p>④ ネットワーク戦略によって「こだわりの逸品の希少価値」を拡販</p> <p>⑤ 限定品戦略による購買意欲の掻き立て</p> <p>① 生産部会が支える「産地ブランド」との相乗による全国展開</p> <p>② 契約栽培による「農業生産の拡大」と契約販売による「農業者の所得増大」</p> <p>③ 地産地消を推奨する買取販売によって出荷コスト（資材・物流）の軽減</p> <p>④ “ロゴ”が示す「見える安全」によって選ばれる産地づくり</p> <p>⑤ ネットワーク戦略によって「生産物統一ブランド」の物語をアピール</p> <p>⑥ “ロゴ”入りパッケージによる個性の発揮</p> <p>① 『梨北米こしひかり』の需要に対応する集荷の確保</p> <p>② 『梨北米』の“おいしさ”と“楽しみかた”のアピール</p> <p>③ 限定品戦略による『梨北信玄米』の価値の向上</p> <p>④ 酒造好適米の拡販による「農業者の所得増大」</p> <p>⑤ 早場米「五百川」・多収穫米「みつひかり」などによる多角的な販売</p> <p>① 「太陽と土と水と生産者」を表す“ロゴ”のストーリー性をアピール</p> <p>② 「安全・安心・新鮮・自然」な農産物の地産地消</p> <p>③ 「食」と「農」を介した地域の協同活動</p> <p>④ 組合員組織と連携した地場産農畜産物のアピール</p> <p>⑤ 軽トラ市『マルシェ梨北』によるアクティブ・メンバーの育成</p> <p>⑥ ネット直売所『マルシェ梨北』による全国展開</p> <p>① 「見て・作って・楽しむ食」の提供</p> <p>② ポップやレシピの提案による「売れるストーリー」のアピール</p> <p>③ 6次産業化商品による「農業者の所得増大」</p> <p>④ 有機質施用の“こだわり”を価値につなげる販売</p> <p>⑤ こだわり農産物（新しい品種・珍しい野菜）の販売支援</p> <p>① 生産トータルコストの低減に寄与する共選場所の集約</p> <p>② 共選所担当者のスキルアップおよび販売力の強化</p> <p>③ 実需者のオーダーに対応できる機動力の強化</p> <p>④ 卸売市場法の改正を見据えた販売チャネルの確保</p> <p>⑤ 次期情報システム移行に備えた整備</p>
	<p>2. アクティブ・メンバーが支える「選ばれる農産物直売所」</p> <p>(1) 生産物の自然な姿で“旬”を伝える店舗づくり</p>	<p>① アクティブ・メンバー（地域生産者）の出荷による潤沢な品揃え</p> <p>② 「安全・安心・新鮮・自然」な“旬”を伝える農産物の提供</p> <p>③ ポップやレシピ紹介による「来て・見て・楽しい」店舗づくり</p> <p>④ こだわり農産物「梨北さんち」コーナーによる独自性の発揮</p> <p>⑤ “旬”の食材を使用した「女性部おすすめ」商品の販売</p> <p>⑥ プレミアム米（網目2mmを使用）の期間限定販売</p> <p>⑦ 消費者目線を反映させたマーケットイン戦略</p>

4. 購買事業

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
総合事業体の特性を發揮した生産トータルコストの低減	<p>1. “JAだからこそできる”付加価値をアピールした生産資材の営業</p> <p>(1) 地域密着型営農指導を付加価値とした多様な担い手に対する営業 (ベテラン農家・兼業農家・農地委託農家)</p> <p>(2) 担い手経営体の多様なニーズに対応する弾力的なTAC営業 (大規模農家・法人・集落営農) (Team for Agricultural Coordination 担い手に向く担当者)</p> <p>(3) 生産資材専門店舗の特質性を發揮した『JAグリーンりほく』の店舗づくり</p> <p>(4) 農機センターのアフターケアによる営農支援</p>	<p>① 営農指導員が発信する栽培方針に基づく生産資材の営業</p> <p>② 高品質な農畜産物を生産するための生産資材の推奨</p> <p>③ 全農の集中生産・集中購買による生産資材価格引き下げ対策</p> <p>④ 予約供給と当用供給の価格差による予約注文の推奨</p> <p>⑤ 法律に基づいて毒劇物を管理する鍵付き農薬庫の普及</p> <p>⑥ 労働力軽減商品・労働時間削減商品の提案</p> <p>⑦ 生産現場の世代交代に寄り添う農業継承の支援</p> <p>⑧ アクティブ・メンバーシップの強化による供給高の伸長</p> <p>① TAC(営農購買担当課長)による出向く営業活動</p> <p>② TAC(営農購買担当課長)によるアクティブ・メンバーの育成</p> <p>③ 担い手経営体部会を介したニーズの把握</p> <p>④ 大口利用者に対する生産資材大型規格および特別価格の適用</p> <p>⑤ 総合事業体の優位性を發揮した設備投資の支援</p> <p>⑥ ニューパートナー(農業参入企業等)への積極的なアプローチ</p> <p>① ポップによる地域特性を活かした営農情報の発信</p> <p>② 3つの見通し(店舗・気象・営農指導)のアピールによる集客</p> <p>③ “旬な”時に“旬な”商品の売り出しと特別価格商品による集客</p> <p>④ 利用者(専業農家から家族経営農家まで)目線を重視した店舗づくり</p> <p>⑤ 「女性の声」を反映した商品構成と店舗空間</p> <p>⑥ 総合事業体の特性を發揮した店舗づくり(他事業相談コーナー)</p> <p>① 稼動前点検・格納点検による農業機械の使用年数の延伸</p> <p>② 生産者の営農形態に即した幅広い農業機械の提案</p> <p>③ 農機センターのアフターケアを付加価値とした拡販</p> <p>④ 地域の需要に対応した中古農業機械の買い取りおよび販売</p> <p>⑤ 助成金・利子助成・保証料助成を活用した設備投資の提案</p> <p>⑥ 専任担当者のスキルアップによる利用者満足度の向上</p> <p>⑦ 農業機械のレンタルによる営農支援</p>
地域の生活インフラを支える生活物資の供給	<p>2. “JAにしかできない”生活関連商品の営業</p> <p>(1) 生活インフラ機能を担うエネルギーの供給</p> <p>(2) 地域に遍く対応する高齢者の生活支援</p> <p>(3) 自動車センターによる新規利用者層の拡大 <small>ニューパートナー</small></p> <p>3. 内部管理態勢による「信頼」の確保</p> <p>(1) 適正な業務による健全性の確保</p> <p>(2) 事業継続に必須となる体制づくり</p>	<p>① LPガス安全化システム『ガスキャッチ』による「安心」の提供</p> <p>② LPガスのスマートメーター(超音波式)による「安全」の確保</p> <p>③ 関連機器(ガスファンヒーター・給湯器)の拡販によるLPガスの使用増量</p> <p>④ 燃料の複数取引割引による新規利用世帯の獲得</p> <p>⑤ 利用者還元メリットによる農業用A重油の拡販</p> <p>⑥ 併りほく(子会社)と連携した燃料事業の拡販</p> <p>① 高齢者に安全と暮らしやすさを提案する“小さなリフォーム”</p> <p>② 移動販売車・配置購買・通信販売による「買い物困難者」の支援</p> <p>③ 高齢者の日常生活をサポートする商品の提案</p> <p>④ 一声運動(必要なものはありますか?)による見守り活動</p> <p>⑤ 他事業と連携した地域セーフティネット</p> <p>① メーカーをまたいだ一元化提案の利便性をアピール</p> <p>② 次世代・次々世代層の自動車ニーズに対応する積極的な営業活動</p> <p>③ 支店からの情報提供による効率的な営業活動</p> <p>④ 総合事業体の特性を活かした事業クロスセルによる利用者対応</p> <p>⑤ 専任担当者の営業活動による利用者満足度の向上</p> <p>① 適正な事務(業務フロー・チェックポイント)によるリスク回避</p> <p>② 棚卸資産等評価要領に基づく資産の適正な評価</p> <p>③ 適正な業務による会計監査人監査対応</p> <p>④ 次期情報システム移行に備えた整備</p> <p>① 必須資格および取得年限(内規)に準じた資格の取得</p> <p>② 毒物劇物取扱責任者による農薬(毒物・劇物)の取り扱い</p> <p>③ 危険物取扱責任者の管理下による燃料供給</p> <p>④ 法定資格取得者によるLPガスの取り扱い</p> <p>⑤ 法定資格取得者によるフォークリフトの取り扱い</p>

4. 購買事業

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
	(3) 内部統制システムの運用による信頼性の維持	① 独占禁止法に則した業務の徹底 ② 毒物及び劇物取締法に則した業務の徹底 ③ 法定点検の適正な実施 (消防法・計量法・液化石油ガスの保安及び取引の適正化に関する法律) ④ 労働安全衛生法に則した業務の徹底 ⑤ コンプライアンス・マニュアルに則した業務の遂行 ⑥ 個人情報取扱規程を遵守した利用者の保護

5. 経営管理【総務】

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
組織理念の共有による「わがJA」意識の確立	<p>1. 協同の今日的意義による組織理念の共有</p> <p>(1) 協同組合原則に基づく「協同の価値」の発信</p> <p>(2) JA網領に基づく組織理念の共有</p> <p>2. アクティブ・メンバーシップによる“わがJA”意識の強化</p> <p>(1) <small>ニューパートナー</small>新規組合員の加入による組織基盤の拡充</p> <p>(2) アクティブ・メンバーによる組織基盤の強化</p>	<p>① 「誰でもなれる組合員」の浸透による開かれた運営</p> <p>② 組合員が積極的に参加する民主的な管理</p> <p>③ 公平な出資および民主的管理による組合財政への参加</p> <p>④ 組合員による民主的な管理の確保および組合の自主性の保持</p> <p>⑤ 組合の発展に寄与する教育活動および協同の特質と利点の広報活動</p> <p>⑥ JAグループによる全国的協同組合運動</p> <p>⑦ 地域社会の持続可能な発展に対する貢献</p> <p>① 「農」の振興による「食」の保全</p> <p>② 安心して暮らせる豊かな地域社会の実現</p> <p>③ 組合員の積極的な参加と連帯による協同の成果</p> <p>④ 健全経営による「信頼」の確保</p> <p>⑤ 協同の理念に基づく“生きがい”の追求</p> <p>① 一世帯複数組合員制による次世代組合員の増員</p> <p>② 次世代組合員のアクティブ・メンバーシップの強化</p> <p>③ 農業従事者の組合員全加入による地域農業の継承</p> <p>④ 新規就農者と地域をつなぐ組合員加入促進</p> <p>⑤ 女性組合員の増員による「女性の声」の反映</p> <p>⑥ 「組合員メリット」の深化による組合員の増員</p> <p>⑦ 不特定多数参加型活動を契機としたJAとの関わり</p> <p>① 総代のアクティブ・メンバー化による「地域の声」の反映</p> <p>② 役員によって地域とJAのつながりを強化</p> <p>③ 組合員組織（アクティブ・メンバー）活動による地域の活性化</p> <p>④ 農業者のアクティブ・メンバー化による地域農業振興</p> <p>⑤ 特定少数参加型活動によるアクティブ・メンバーの育成</p> <p>⑥ 組合員表彰（アクティブ・メンバー）を契機とする協同活動の活性化</p> <p>⑦ 組合員参加型支店協同活動によるアクティブ・メンバーシップの強化</p> <p>⑧ アクティブ・メンバーシップの強化による出資金の保持</p> <p>⑨ 地域からの応援団「JA梨北OB会」による“わがJA”意識の伝達</p> <p>⑩ 「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を反映した運営</p>
JAくらしの社会的活動による実現	<p>3. 協同活動による「地域の活性化」</p> <p>(1) 広報活動による「JAの見える化」</p> <p>(2) “人と人をつなぐ”協同活動</p>	<p>① 広報誌『りほく』によるアクティブ・メンバーシップの強化</p> <p>② ネットワーク広報による次世代・次々世代へのアピール</p> <p>③ 農業の多面的機能の重要性とJAの必要性を提唱</p> <p>④ パブリシティによる「JAの見える化」</p> <p>⑤ 広報活動を駆使した経営戦略</p> <p>① スポーツ活動および文化活動によるJAの保守的イメージの払拭</p> <p>② 「食」と「農」を基軸とした組合員参加型支店協同活動</p> <p>③ 超高齢社会に対応する見守り活動と相談業務の充実</p> <p>④ 次世代組合員につながるフェイストゥフェイスの外務活動</p> <p>⑤ 地域貢献活動によるJAのイメージアップ</p> <p>⑥ 地域コミュニティの拠点となる社会的役割の発揮</p>
財務基盤の健全化による経営の確立	<p>4. 組合資産および財務の健全化による経営基盤の強化</p> <p>(1) 組合資産の健全化による経営リスクの回避</p> <p>(2) 財務の健全化による経営の安定</p>	<p>① 事業のスリム化による経営資源の有効活用</p> <p>② 中長期組合資産計画に基づく組合資産の管理</p> <p>③ 固定資産減損会計による組合資産の健全化</p> <p>④ コンパスJA（管理系システム）による組合資産の個別管理</p> <p>① 利益剰余金の増額・出資金の維持による自己資本の増強</p> <p>② 費用対効果の意識醸成による利益貢献</p> <p>③ 会計実務のスキルアップによる会計監査人監査対応</p> <p>④ 農業協同組合法（施行規則）を遵守した財務諸表作成</p> <p>⑤ 中期財務計画に基づく経営の安定化</p> <p>⑥ 消費税率変更に伴う適正な対応</p>

5. 経営管理【総務】

ビジョン	重 要 施 策	行 動 計 画
組織理念・経営理念・行動指針	<p>5. “共に学び共に育つ” 職場づくり</p> <p>(1) “共育” の概念に基づく人材育成</p> <p>(2) 法令・諸規程に則した労務管理</p>	<p>① 組織理念・経営理念の共有による「組織の在り方」の追求</p> <p>② 指示的行動・支援的行動による「職場環境づくり」</p> <p>③ 教育指導体系による「人づくり」</p> <p>④ 教育研修および資格取得による自己啓発</p> <p>⑤ 自己管理能力からマネジメント能力へのスキルアップ</p> <p>⑥ 職員の意識改革・行動改革による利用者満足度の向上</p> <p>⑦ コンプライアンスおよび利用者保護に関する教育研修の実施</p> <p>① 「働き方改革」に準じた労務管理</p> <p>② 個人情報取扱規程を遵守した職員情報管理</p> <p>③ 安全衛生管理活動による潜在的リスクの回避</p> <p>④ メンタルヘルス対策・健康保持増進対策の実施</p> <p>⑤ 勤怠管理システム（コンパスJ Aに連動）による労務管理</p>